



## 令和6年度 北部農林高校 第1回 体験入学実施要項（対象:中学校全学年）

### 1 目的

- (1) 各学科の授業や実習内容を公開し、中学生及びその関係者が本校を体験する機会とする。
- (2) 在校生が日頃学んでいる知識技術を中学生に教えることで、専門的知識・技術の深化統合を図る。

### 2 日時

令和6年 5月17日（金） 13時45分～17時00分

### 3 実施方法

- (1) 参加者は体験①の学科棟に直接集合し、そこで出席確認と日程説明を受ける。
- (2) 参加者は2つの学科を体験することを基本とする。
- (3) 熱中症、感染症などに備えて健康管理と感染症対策を行う。  
※引率者は参加生徒の緊急対応に備えるため、体験時間中は校内にて待機する（体験の付き添いも可）。

### 4 日程

時間	内容	場所
13:45～13:55 (10分間)	受付・出席確認	体験①の学科棟
13:55～14:00 (5分間)	日程説明	同上
14:00～15:20 (80分間)	体験活動①	同上
15:20～15:35 (15分間)	移動・休憩	
15:35～16:55 (80分間)	体験活動②	体験②の学科棟
16:55～17:00 (5分間)	アンケートの記入	体験②の学科棟

※アンケート記入後は、引率者の指示に従って解散する。

### 5 申し込み方法

各中学校においては、「日本スポーツ振興センター」の適用に対する措置（教育活動としての位置づけなど）を行った上で申し込みをすること。

- (1) 申し込み用エクセル【様式1】に各中学校の担当者が一括して入力し※、下記メールアドレスに添付して送信する。
  - ・体験活動①と②の入力を原則とするが、体験①のみの参加も認める。
  - ・体験①のみ参加する場合、①が終了した後、引率者が責任をもって当該生徒を下校させるか、同中学校の生徒の体験が終わるまで同伴して待機させる。
- (2) 各学科が実施する1回目と2回目の体験内容は同じものであるため、同じ学科を2回希望することはできない。実際に体験する順序は希望者数をもとにして北農側で編成し、実施2日前までに中学校にメールで連絡する。
- (3) メール件名は「〇〇中学校\_体験入学」とする。
- (4) 締め切り：5月8日(水)17:00

申し込みエクセル：【様式1】第1回体験入学申込エクセル

送信先アドレス：hanahart@open.ed.jp（北部農林高校：花原 宛て）

### 6 留意事項・持ち物等

- (1) 参加者は所属中学校の制服を着用して参加すること。
- (2) 熱中症対策のため、飲料水（ペットボトル等）の持参を推奨する。
- (3) 体験後のアンケートは紙への記入又はスマホ等の端末で入力する。そのため、各中学校の判断で生徒にスマホ等を持たせることも可能とする。
- (4) 申し込み後、体験する学科の変更は原則として認めない。
- (5) 引率者も体験に参加することができる。
- (6) 参加生徒の体調不良などの緊急時に備え、必ず中学校教諭又は保護者が引率し、全ての活動が終了するまで本校内で待機する（引率者も体験の付き添いも可能）。

## 7 各学科体験内容および担当生徒

学科	体験内容
熱帯農業	本校で準備するマイクロバスで寄合原(よりあいばる)農場に移動し、熱帯果樹コース、資源作物コース、畜産コースの見学をする。
園芸工学	① はじめてのバイオ体験 (フラスコ苗の作成) ② 多肉植物の寄せ植え ③ 土を使わない野菜栽培 (養液栽培)
林業緑地	① 林業緑地科の紹介 ② CAD体験 (パソコンを使ってオリジナルの図面作成) ③ 木工体験 (レーザー加工機で自分の名前を書いてみよう) ④ 大きな重機を動かそう! (バックホウ)
生活科学	① 生活科学科の紹介 ② 簡単なおもちゃ作り体験・応急処置体験 (保育・福祉コース) ③ 簡単なお菓子を作り体験 (調理コース)
食品科学	① 黒糖クッキーの製造実習 (1年生のプロジェクト学習で開発) 地域素材の黒糖を使いながら、クッキー製造の基本を体験しよう。 ② 飲み物の甘さを調べてみよう。 ～自分の好みの甘さについて糖度測定します～ ③ パン製造の発酵に関する微生物 ～「酵母」を見よう～
定時農業	① 定時制課程の説明 (展開A教室: 3-1教室) ② 「学び直し」の説明と体験 (視聴覚教室) ③ 農業実習体験 (多肉植物の寄せ植え) (農場) 魅力的な多肉植物を使ってオリジナル作品を作ろう

## 8 校内見取り図

校内の移動・・・駐車場から体験①の学科棟への誘導は、北農の職員/生徒が行う。

